

第一回環境登山（第七回清掃登山）

集合活動開催日：平成 22 年 9 月 26 日（日）

開催コース： 山岳 S C～三ノ塔～二ノ塔～山岳 S C

参加者： 連盟会員 23 名

開催概要：

清掃登山を環境登山と改称して第一回目の活動となる。この活動では丹沢山塊三ノ塔・二ノ塔に通じる登山道一带のうち海拔 1000m 以上に重点地域とし、次に示す 3 項目の活動を行った。

- ①美化清掃活動（三ノ塔付近を重点とした）
- ②植樹（二ノ塔尾根海拔 1050m 付近の裸地）
- ③環境啓発活動（山のトイレエチケット袋の配布）

当初の予定日 23 日（秋分の日）が悪天候となったことから、急遽日程を 26 日と変更した。その為参加者は 23 名と低調であったが、全員が熱意を感じあう活動となった。

この日の活動は、県山岳スポーツ・センターを出発し、三ノ塔尾根から二ノ塔尾根を経由して、道すがら美化清掃、環境啓発、植樹のそれぞれを行い、出発点まで周回することで行われた。

美化清掃では、三ノ塔頂上付近を重点的にの合流点付近の三ノ塔尾根側の樹林帯を重点的に行ったもので、缶、瓶、プラスチック・フィルムなどの散乱ゴミの約 50 キログラムを収集し県山岳 SC へキャリーダウンした。

環境啓発活動では、トイレゴミの持ち帰りに焦点を絞り、「山のトイレエチケット袋」とリーフレットの配布を行った。前者の袋は「山のトイレを考える会」（北海道）から好意的に無償提供を受けたものである。

植樹では、昨年度実施の二ノ塔尾根海拔 1050 メートル付近の登山道に隣接する裸地（小規模の崩落跡地）に「丹沢の緑を育む実行委員会」から支給を受けたミヤマヤシャブシ 100 本を参加者により補植した。昨年の植樹したもの定着は僅かであったが、この一年で下草が点在するなど植生の回復が着実に進んでいるように観察された。

